



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



[岩木山とりんごの花]看護師募集活動で訪れた南津軽

第21号

目次

院長のこたば「変わる看護体制」	1
新病院建築状況	2
就任のごあいさつ	
地域医療連携	
病診連携施設紹介	3
地域医療連携室から	4
検討会・研究会の開催	
お知らせコーナー	5
医療安全の日—Memorial Day—	
看護学生フォーラム	6
職場紹介 — 栄養管理室	
— 附属横浜看護学校	7

医師の人事異動	8
看護師(常勤・パート)募集 / 看護学生募集	9
患者数の動向/編集後記	10
外来担当医表	11

発行 月：平成20年7月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：高橋 俊毅
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：<http://www.hosp.go.jp/~yokoham/>

変わる看護体制

～ 7 対 1 看護体制スタート～

病院長 高橋 俊毅

当院は、横浜市南西部における急性期医療を基盤とした質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関連医療機関との密接な連携を持つ地域完結型医療を担っております。

急性期医療とは、救急若しくは重篤な患者さまを中心とした入院並びに緊急手術等を担う医療です。この医療体制を充実するには専門性の高い技術を備えた医師はもとより、救急受入が可能となるよう医師の絶対数確保は不可欠です。そして医師だけではなく、入院された患者さまを看護する看護師の存在が大変重要な要素になります。

救急で重篤な患者さまが多ければ多いほど、それだけ看護の必要度も高くなり、少ない看護人員では一人あたりが担う業務量が増大し、看護の質が低下するおそれがあります。患者さまに安全・安心な医療を提供するという医療の本来の目的に少しでも近づけるためには、やはり看護師を増やし看護体制を見直して行かなければなりません。

今まで当院は、入院患者さま10人に対し看護師1名の配置となる“10対1看護”でした。日中は看護師が多いのに、夜は2名しか居ない．．．という、従来の病棟看護師配置を変えていく必要がありました。

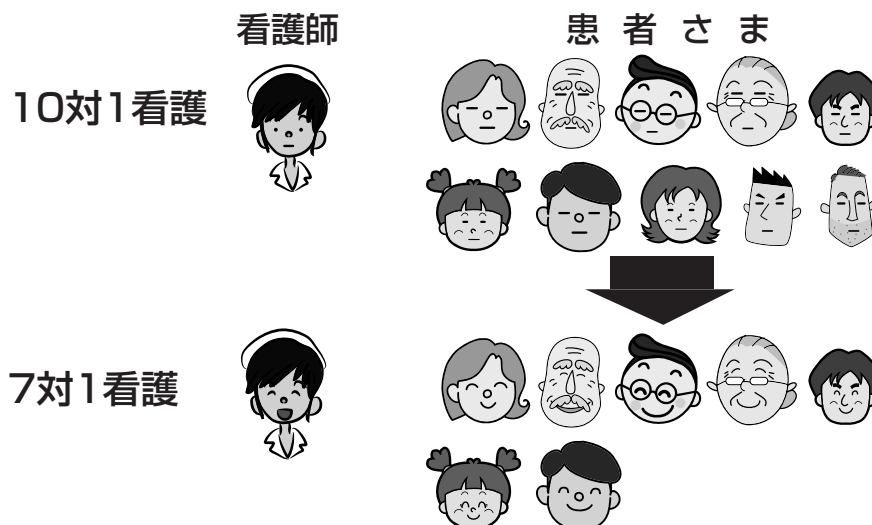
昨年度から「これまで以上に良質な看護を提供するために」と看護師確保に奔走してきましたが、この4月に52名採用でき、5月をもって一般病棟入院基本料7対1の基準を取得できました。一般病棟入院基本料7対1とは、急性期の患者さまがご入院される一般病棟において、夜間・休日も含めて平均して入院患者さま7人に対し看護師1人が受け持つことを意味するもので、現在の診療報酬制度下では最高水準となります。

入院患者や重症者の多い病棟は、看護師が増員され、今までの2人夜勤・3人夜勤体制から、3人夜勤・4人夜勤体制へと変わりました。

昼夜を問わず、手厚い看護となるように看護師を配置し、少しでも時間をかけた看護が出来るように、そして多くの目で見守ることが出来るように、看護部の理念である「患者さま中心を念頭において、温かい笑顔で心のこもった看護」が提供できるよう努めます。

また、看護師の業務改善からは、過度とならない働きやすい環境を確保するよう努めます。

一日でも早く回復なされ、皆様の健康に寄与できるよう、地域から信頼される病院を目指してまいります。



新病院建築状況

営繕専門職 山崎 忠雄

新病院の設計も終了し、工事施工業者を決定する一般競争入札を5月8日に行ったところですが、残念ながら契約にいたらずとなってしまう、再度公告のうえ7月8日に第2回目の入札を実施しました。

新病院建築工事を着工する前の準備工事として、地中の給排水管やガス管、電気の高圧ケーブルの切り回し工事を進めてまいりました。患者さま並びに近隣住民の皆様方のご協力により事故等もなく、これらの工事を2月18日から6月6日間で無事に終了することができました。ご協力に感謝御礼申し上げます。



病院正門から見た新病院完成予想図

6月18日に住民の皆様方に現況の説明会を実施し、ご理解をいただいたところですが、工事施工業者決定後も着工に向けて新病院建築計画状況の説明会を今後開催してまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

就任ご挨拶

神経内科医長 上木 英人

平成20年4月より、当院神経内科医長に赴任いたしました上木（じょうき）と申します。実は私は以前にも平成16年4月から平成18年4月まで当院におりました。当時は神経内科の常勤医が私一人であり、正直十分な働きができませんでした。現在は遠藤雅直医師との常勤医二人体制でやっており、以前よりは幾分余裕をもって仕事をするようになったかと思えます。



この間の2年間は横浜市立大学附属市民総合医療センターで仕事をしていました。私は難しい研究は苦手で、これまで臨床の場で患者さんを診ることを第一に仕事を続けてきました。今後もこの基本姿勢は変えないつもりです。

当科の入院患者さんの多くは脳卒中、中でも脳梗塞の患者さんが主です。脳卒中は日本人の死亡原因の第3位、寝たきりの原因疾患の第1位であり、厚生労働省も力を入れている疾患の一つです。脳梗塞の急性期治療は血栓溶解療法を含め今後も力を入れていく領域になりますが、脳梗塞の診療はその予防も含めて地域の開業医の先生方との連携が不可欠であると考えており、今後情報交換など積極的におこないたいと考えています。

その他、神経内科が関わる疾患は非常に多岐に渡るためここでは述べませんが、近日中に横浜医療センターのホームページの診療科紹介を更新する予定ですのでそちらをご覧ください。

今後ともよろしくお願いいたします。

地域医療連携 病診連携施設紹介 紺野整形外科

診療科目：整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

昭和59年3月に再開発著しい戸塚駅の東口から3～4分の上倉田町に開業して、はや24年となりました。開業当初は、まわりは空き地だらけで、駐車場の確保も容易でしたが、今ではすべてビルが建ち、遂に当院の患者さん用の駐車場はなくなってしまいました。

当院では膝関節、肩関節等の関節疾患、リウマチ性疾患、頸椎や腰椎の脊椎疾患、手の外科、スポーツ整形外科、小児整形外科、外傷等を中心に診療しております。

開院当初よりリハビリテーションに力を入れてまいりましたが、この4月からは理学療法士3名を新しいスタッフとして迎え入れさらにリハビリテーションの充実に努めております。

当院は無床診療所のため、非観血的治療が中心となり、リハビリテーション、薬物療法、ブロック療法等を中心に診療しています。しかし、観血的治療を要するケースも時々みられ、また診断と治療に難渋するようなケースも多々見られます。その時には、日塔部長をはじめとする横浜医療センター整形外科の先生達にお世話になっております。救急を要するような場合でも電話一本で対処して頂け、大変感謝しております。整形外科診療における横浜医療センターとの病診連携は十分に機能し、横浜医療センターを中心とする整形外科開業医の先生達はもとより患者さん達にとって非常に頼もしく、一同感謝しております。

開業し20数年ともなると、開院当初より通院している患者さんもおおり、また外来でリハビリをして運動機能の維持改善に努めていても要介護となり、通院できなくなる方もおられます。家族の方から介護について相談されることが多くなり、その要望に応えるべく、平成18年4月より神奈川区において介護老人保健施設「神奈川苑」を開設し、介護を要する方々、リハビリテーションを要する方々へのサービスを始めました。政府の医療と介護に対する厳しい政策のため苦戦しておりますが、スタッフ一同、地域医療のために頑張っております。



紺野 勉 院長 (中央)



紺野整形外科

〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町884-1

TEL 045-862-2551

診療時間 月・火・木・金 9:00～12:30 15:30～18:00
土 9:00～12:30

休診日 水曜日、日曜日、祝日

地域医療連携室から

“退院調整看護師長として活動を開始しました”

退院調整看護師長 竹山 洋子

私は平成20年度4月より退院調整看護師長として専任で活動を始めました。

4月から地域医療連携室と医療相談室、そして退院調整と3部門が一つの場所に合同で業務することになり、お互いが連絡しやすく役割分担ができて業務をスムーズに進められるようになりました。院内や地域の医療・福祉機関からのさまざまな相談、地域状況、診療内容の特徴、後方施設の情報、医療内容についてなど3部門が一同で情報交換やカンファレンスをして適切なサポートを選択しています。当院においてこれは画期的な取り組みで、最近介護度の高い患者さまの退院や転院が進んでいることはこの連携の成果がでていていると思います。

当院は救急医療や地域医療支援を柱にしており、入院患者さまの半数近くが救急や登録医から紹介で入院してきます。私の役割は具体的には各病棟の退院困難が予測される患者さまに入院早期から介入し在宅ケア体制を整えることです。①患者家族や院内、地域の担当者と合同カンファレンスを開いて退院方針の統一をする②退院支援計画を立てる③病棟スタッフと一緒に患者さまや家族に介護技術や処置技術を退院指導する④地域の担当者と具体的にサービス計画の調整をするなどです。退院調整で重視していることは個々の患者家族の意思決定を大事に受けとめて一緒に考える姿勢で取り組むことです。

4月開始以降、気管切開、吸引、胃瘻、褥創、自己注射などの患者さまを在宅へ退院する調整を約10例実施しました。地域の診療、看護、介護の各担当者に一つ一つ協力いただきながら「顔の見える連携」をすることで、患者家族に信頼される支援ができることを実感しました。

これからも院内と地域の連携を積み上げ、患者家族に退院支援をしていきたいと思っています。



合同カンファレンスの様子

横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長

045-851-2621 (代)

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長

045-851-2621 (代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

医療安全の日－Memorial Day－講演会

「大いなるもの～可視と不可視の世界～」

医療安全係長 小林 洋子

毎年4月13日は当院の医療安全の日－Memorial Day（メモリアルデー）です。

今年は、私達個々が人としてどうあるべきかを考えてみようと、鎌倉臨済宗円覚寺派管長 足立大進老師をお迎えし「大いなるもの～可視と不可視の世界～」というテーマでお話して頂きました。老師のお言葉は平成16年のラジオ深夜便放送以降、いまだに静かな反響を呼んでおりWeb上でも一部紹介がありました。老師には、普段はなかなかお目にかかれないと伺っていましたが、今回は特別な御配慮のもと、お招きする事が叶いました。

老師のお話は「本当に私たちが豊かで幸せな暮らしを築くためにはどうしたらいいか、どういう人生を積み重ねていけばいいか・・・」という内容に始まり、日本の文化の素晴らしさや命についての考え方など多くの教えを頂きました。特に「 $X(\text{自分の命}) = \infty(\text{無限大})$ 」というものの考え方は印象的でした。約46億年前の地球の誕生からずっと積み重ねられ、無限のものに支えられて、今ここに自分の命がある。その空間的にも限らない縁、そして燦々と我々に注ぐ太陽や熱、光、恵みの雨など、多くのご縁とお陰を頂いて今ここに私の命がある。けして見ることのできない、聞くことのできない無限で絶対的なものの支えを受けて今ここに自分が生きている。こうした命の不思議に「ああ、ありがたい」と多くの人々が気づき、目覚めることが、現在の乱れた世界を立て直すために一番大切な事ではないか。そして教育においても、文字や数を教える前に「命は素晴らしいものである、かけがえのないものである」という事を教えなければならないのではないか、と説いています。

参加職員は262名と過去最大の出席者数で、あっという間の90分となりました。この講演を機に、大切な命を預かる責任を改めて噛みしめ、明日からの職務に当たっていただければと考えます。



講演中の足立大進老師



聴講する職員



足立大進老師寄贈

看護学生フォーラム

看護学生フォーラムに参加して

3年生 岸川 由佳
極並 香織

4月25日、千葉の幕張メッセで第2回国立病院機構関東信越ブロック看護学生フォーラムが開催されました。今回のフォーラムは「看護の力 知と技と慈愛」をテーマに、学生間の交流や看護について他校との相互理解を深めるという目標に向けて、当番校の一員として参加しました。

当日までの約1年間、当番校として何度も打ち合わせを行い、パンフレット作りなどフォーラムを学生にとって有意義なものにするために活動してきました。

当日のシンポジウムでは「患者の力を伸ばす看護」というテーマの下に、4人のシンポジストから実習を通して学んだことが発表されました。また、それらの内容について学生間で多くの意見交換が行われ、看護への気持ちを共有すると共に、医療現場における看護の重要性を更に強く感じることができました。

昼食時には学校紹介が行われました。私たちが数回に亘り練習を行うなど準備を重ね、無事に本番を成功させることが出来ました。また、発表を聞いて各校の地域性や特徴を知ると共に、実習などの話を聞き、学校が違ってても看護学生としてみんな同じように学んでいるのだと実感しました。これから一緒に看護師として現場に出る仲間なんだという意識が、より一層強くなったと感じました。

今回のフォーラムに参加して、普段交流のない他校の仲間と同じ時間を共有し、看護について語り合うことで、学生間の絆や看護に対する思いを更に深めることができました。また、当番校としての大きな達成感も得ることができ、フォーラムを通して学んだことや感じたことを、今後の学生生活に活かしていきたいと思えます。



発表の様子



筆者のふたり

職 場 紹 介

●今回は栄養管理室と
附属横浜看護学校の紹介です。

栄養管理室

栄養管理室長 長谷川 輝美

こんにちは。「入院中の食事」や「栄養相談」でお馴染みの栄養管理室です。

栄養管理室のスタッフは、室長以下、管理栄養士3名、調理師8名、調理補助1名で、一部業務委託で運営しております。

業務内容は、①食事の提供。一般的な食事である常食、疾病治療の手助けをする特別治療食、出産のお祝い膳、つらい治療で食欲が低下している時に少しでも召し上がって頂ければとの思いで提供しているUP食等の100種類程度の食事に対応して、1日約1,000食の提供をしています。②入院・外来患者さまへの栄養相談。年間相談件数は、国立病院機構関東信越ブロック管内でも常に上位にランキングされています。しかも、管理栄養士は、転勤により様々な疾病の患者さまの栄養管理を経験していますので、糖尿病、心臓病、脂質異常症の他、がん、アレルギー、肝臓病、腎臓病、炎症性腸疾患等の食事についても相談可能です。③チーム医療参画。食べる機能が低下している方への回診、栄養状態の悪い方へのサポート、地域医療連携等、よりよい医療の提供のために他の職種とチームで取り組んでいます。

毎日コツコツ働いて裏方のような地味な部門ですが、栄養管理室一同、患者様の1日も早い回復を祈りながら、今後も業務に励んでいきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いたします。



栄養管理室の職員

附属横浜看護学校

教員 菅山 明子

看護学校では4月に新入生76名を迎え、全校生徒が177名になりました。生徒数が増え、休み時間はとても賑やかで、活気に満ちた学生の声が校舎内に響いています。

新校舎も2年目となり、新たな看護教材や教育設備も充実してきました。また、学生ホールには絵画が飾られ、観葉植物が配置されるなど、学問ばかりを詰め込むのではなく、学生がほっとできるようなアメニティにも配慮しながら、未来の看護師を育てるべく、日々奮闘しております。

1年生は基礎分野や専門基礎分野と並行して、看護技術の習得に向けての学習が本格化してきました。現在はベッドメイキングや体位変換などの技術を中心に、自主的に実習室で練習に励む姿が見られます。

2年生は、これまで学習してきた知識と技術を統合させ、患者さまにより良い看護を提供する基礎的能力を養うべく、病棟での実習がスタートします。自治会活動でも中心的役割を担うようになり、責任感や連帯意識、リーダーシップなどを身につけていきます。

3年生は、一人一人が自分の夢の実現に向け、将来の進路を決定する重要な時期でもあります。2月に控えた看護師国家試験の合格を目指し、今からクラス一丸となって講義に実習に励んでいます。

看護は専門的な知識と確かな技術が欠かせません。学校では、それらの基礎的能力を養うことはもちろんですが、対象の一人一人を大切に、理解できる豊かな人間性をはぐくむことも重要だと考えています。来年にはカリキュラムの改正も控えており、社会のニーズに対応できる看護師の育成を目指してより一層充実した教育が行えるよう、教職員一丸となって日々努力を重ねています。



看護学校の職員

医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	発令年月日	発令	職名	氏名	退職後の施設名
平成20年4月1日	採用	皮膚科医長	高 須 博	平成20年3月31日	退職	皮膚科医長	坪 井 廣 美	—
"	"	皮膚科医師	新 山 奈々子	"	"	皮膚科医師	百 瀬 葉 子	社会保険相模野病院
"	"	小児科医師	藤 塚 麻 子	"	"	小児科医師	神 山 明 美	かみやま小児科医院
"	"	小児科医師	鈴 木 健	"	"	小児科医師	西 山 綾	—
"	"	小児科医師	塩 谷 裕 美	"	"	小児科医師	榎 本 聡 子	藤沢市民病院
"	"	脳神経外科医長	向 原 茂 雄	"	"	脳神経外科医師	竹 本 安 範	平塚共済病院
"	"	脳神経外科専修医	高 木 明 美	"	"	神経内科医師	土 井 宏	横浜市立大学附属病院
"	"	神経内科医長	上 木 英 人	"	"	外科医師	田 辺 美 樹 子	横浜市立大学附属市民総合医療センター
"	"	外科医師	松 本 千 鶴	"	"	外科医師	木 村 準	横浜市立大学附属市民総合医療センター
"	"	外科医師	小 林 敦 夫	"	"	外科レジデント	澤 田 雄	横須賀共済病院
"	"	外科レジデント	藪 下 泰 宏	"	"	麻酔科医師	大 川 卓 巳	横浜市立大学附属市民総合医療センター
"	"	呼吸器内科医師	瀧 雅 文	"	"	産婦人科医師	和 田 裕 美 子	東京医科大学霞ヶ浦病院
"	"	麻酔科医師	塚 原 美 佳	"	"	精神科レジデント	鎌 田 鮎 子	日向台病院
"	"	産婦人科医師	小 笠 原 良 治	"	"	整形外科レジデント	川 島 史 義	神奈川県立がんセンター
"	"	産婦人科医師	長 谷 川 瑛	"	"	整形外科レジデント	森 山 慶 太	東京共済病院
"	"	精神科レジデント	堀 亜 希 子	"	"	糖尿病内分泌内科専修医	今 井 え り か	—
"	"	整形外科レジデント	岩 本 直 之	"	"	研修医	西 上 真 由	東京医療センター
"	"	整形外科レジデント	水 見 和 巳	"	"	研修医	瀧 澤 延 喜	腹三信病院
"	"	研修医	神 保 覚 子	"	"	研修医	吉 田 佳 織	—
"	"	研修医	竹 内 梓	"	"	研修医	野 村 ま ゆ み	山梨大学附属病院
"	"	研修医	竹 内 久 恵	"	"	研修医	田 中 優 作	—
"	"	研修医	濱 崎 秀 崇	"	"	研修医	井 出 学	—
"	"	研修医	増 田 憲 保					
"	"	研修医	鈴 木 智 香 子					
"	"	研修医	内 田 佳 余					
"	"	研修医	立 花 奈 緒					
"	"	研修医	小 林 幸 司					
"	"	研修医	三 條 博 之					
平成20年6月1日	採用	消化器内科医師	門 前 正 憲	平成20年5月31日	退職	消化器内科医長	神 津 知 永	愛晋会中江病院
"	"	消化器内科医師	瀧 美 友 理 子	"	"	消化器内科医師	長 尾 健 太	済生会栗橋病院
"	"	消化器内科医師	天 野 覚 美	"	"	消化器内科医師	児 玉 和 久	済生会栗橋病院
平成20年6月2日	採用	麻酔科医師	古 賀 資 和	平成20年6月1日	退職	麻酔科医師	土 井 智 喜	帝京大学附属病院
平成20年7月1日	採用	心臓血管外科医師	宮 本 真 嘉	平成20年6月30日	退職	内科医長	高 木 佐 知 子	東京女子医科大学
"	"	小児科医師	及 川 茂 輝	平成20年6月30日	退職	心臓血管外科医師	駒 ヶ 嶺 正 英	東京女子医科大学病院

お知らせ

看護師(常勤・パート)募集

●勤務時間(始業時間・勤務日)勤務形態は、
ご相談に応じます。

○常勤 40時間/週

○パート 32時間/週

国立病院機構 横浜医療センター

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿3-60-2

Tel. 045-851-2621

応募受付：随時 月～金(8:30～17:15)

副看護部長または給与係に電話連絡の上、
履歴書・免許証のコピーを郵送して下さい。

看護学生募集



携帯から
アクセスできます

一般入試：(一次試験) 21年1月22日(木)
(二次試験) 21年1月23日(金)

社会人入試：20年10月18日(土)

推薦入試：指定校制
公募制とも 20年10月18日(土)

	願書受付期間	受験科目
一般入試	H20.12.15(月)～ H21.1.15(木)	(一次)国語総合(現代文) 英語I・II 数学I (二次)面接
社会人入試		国語総合(現代文) 面接
推薦入試	H20.10.1(水)～ H20.10.10(金)	小論文 面接
		国語総合(現代文) 面接

国立病院機構 横浜医療センター
附属横浜看護学校

【住所】〒245-0063
横浜市戸塚区原宿3-60-2

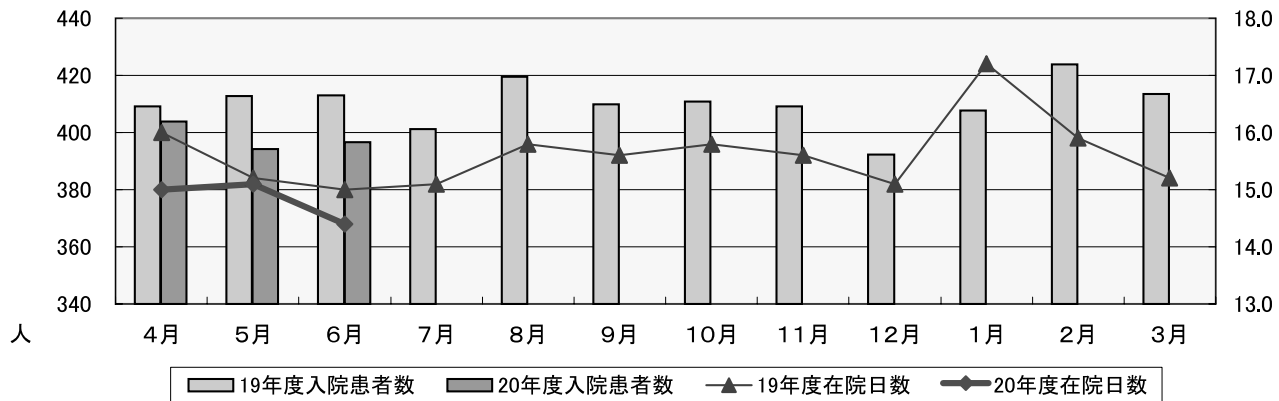
【問合せ】045-853-8323

患者数等の動向～1日平均～

当院は地域医療支援病院として、また横浜市南西部の中核的な病院として、入院治療にウエートを置いた急性期医療を提供していきます。

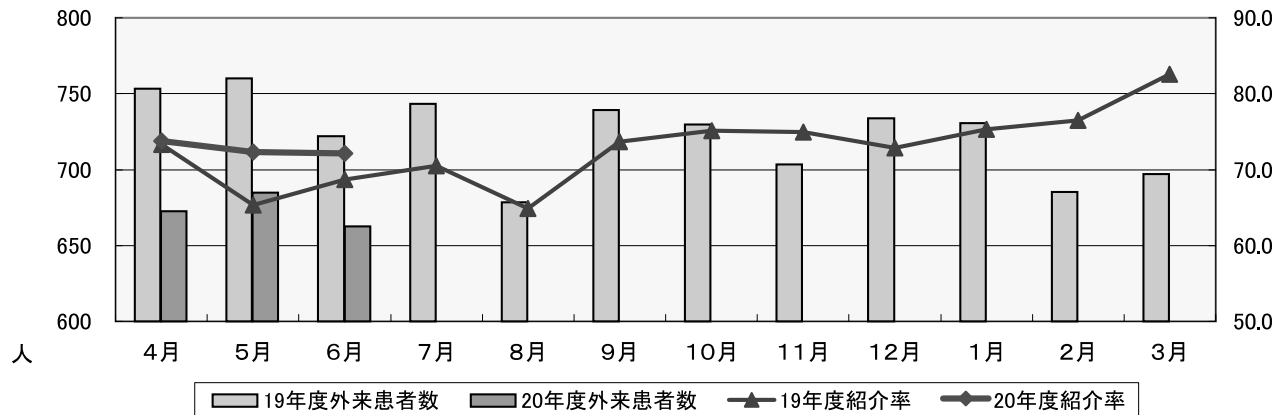
入院治療については、患者さまが少しでも早く回復し退院できるように在院日数の短縮化を進め、外来については、地域医療機関との連携強化による相互紹介に力を入れ、機能分化を推進しております。

入院患者数年度別月別比較（H20年6月30日現在）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
19年度入院患者数	409.1	412.7	413.0	401.1	419.5	409.8	410.8	409.1	392.4	407.7	423.8	413.5	410.1
20年度入院患者数	403.9	394.3	396.6										
19年度在院日数	16.0	15.2	15.0	15.1	15.8	15.6	15.8	15.6	15.1	17.2	15.9	15.2	15.6
20年度在院日数	15.0	15.1	14.4										

外来患者数年度別月別比較（H20年6月30日現在）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
19年度外来患者数	753.3	760.1	722.0	743.1	678.4	739.2	729.6	703.2	733.8	730.4	685.4	697.0	722.4
20年度外来患者数	672.5	684.8	662.4										
19年度紹介率	73.3	65.3	68.7	70.5	64.9	73.7	75.1	74.9	72.9	75.3	76.5	82.6	72.5
20年度紹介率	73.8	72.3	72.1										

編集後記

梅雨の合間に初夏の陽射しを感じる季節となり、玄関の紫陽花が見る人の心を癒してくれています。4月に横浜医療センターに就職した職員もそろそろ慣れ、一人ひとりが存在感を発揮し、責任をもって仕事に向かう姿勢が見られ、とても頼もしく思っています。

病院の西側は、新病院の工事のために整地され広々としており、この地に新病院が堂々と建設される日を職員一同が楽しみにしています。新病院建設という目標達成に向けて、職員が力を合わせて日々努力していきたいと思っております。

副看護部長 山本 まち子

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	第1・3週消化器 第2・4週循環器 第5週神経内科	第1・3週 須澤直木 第2・4週 高木佐知子	呼吸器	関口 章子	曾我 隆義	△:午後1:00～2:00(受付時間)紹介状持参の方のみ
	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	川原 智子	須澤 直木	宇治原 誠	※宇治原 誠	※ 予約・紹介状のみ(第2・3・4週午前中 第1・5週9:30～11:00)
	神経内科	上木 英人	△高橋 竜哉	検査日	遠藤 雅直	検査日	▲:紹介状持参の方のみ
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	椿原 基史	消化器科 火午前は新患・急患・紹介のみ
	消化器内科	天野 覚美	門前 正憲	松島 昭三	渥美 友理子	小松 達司	■:午後の予約のみ
	循環器科	巽 藤緒	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)巽
	加藤 文二						
	リウマチ膠原病科	曾我 隆義	検査日	検査日	■曾我 隆義	■関口 章子	
	心療内科	検査日	成田・堀	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ火曜日>奇数週(一般心身症)成田・偶数週(女性心身症)堀/<水曜日>(一般・小児心身症)武川
	精神科	山口 隆之	武川 吉和	山口 隆之	成田 博之 堀 亜希子	武川 吉和	※月～金:新患受付は10時まで受付けます。(要紹介状、1日2名の予約制) 但し、当該医師以外の医師が診察いたします。詳細は精神科外来にお尋ねください。
小児科	鏡木 陽一	菅井 和子	菅井 和子	鏡木 陽一	小林 慈典		
	和田 芳雄 注①	及川 注②	塩谷 裕美	長濱 晶子	小郷 寛史	注①第4週 鈴木 注②第1週 小郷	
外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	松本 千鶴	注③	注③第1週 無し 第4週 藤塚	
	藪下 泰宏	小林 敦夫	一万田 充洋	藪下 泰宏	注④	注④ 急患のみ受付	
呼吸器外科					坂本 和裕 山仲 一輝	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。	
整形外科	国府 秀俊 小椋 研 河井 卓也	日塔 寛昇 国府 秀俊 水見 和巳	国府 秀俊 河井 卓也 岩本 直之	日塔 寛昇 小椋 研 水見 和巳	小椋 研 岩本 直之	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00	
形成外科	高瀬 税	▲交代医師 ※(脳ドック)	向原 茂雄 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	□:手術日のため午前のみ ▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM11:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください	
脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲交代医師 ※(脳ドック)	向原 茂雄 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	※詳細はPM11:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください	
心臓血管外科	盆子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
皮膚科	高須 博 山本 都美 新山 奈々子	山本 都美 新山 奈々子	高須 博 山本 都美	高須 博 新山 奈々子	高須 博 山本 都美 新山 奈々子		
	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康		
泌尿器科	向田 一憲	小笠原 良治	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦		
産婦人科	窪田 与志	平岩 美美子	小笠原 良治	中村 秋彦	向田 一憲		
眼科	清水 康平	手術日	清水 康平	清水 康平	手術日	(受付)初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30～10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～9:30	
	岡部 智子	手術日	岡部 智子	岡部 智子	手術日		
耳鼻咽喉科	新橋 涉	向出 光博	春日井 茂	小宅 大輔	休診	(受付)初診・予約外再診とも 月～木8:30～10:00まで	
放射線科	栗原 須生美 注⑤		幡多 政治 注⑥			※注⑤月曜日13:30～15:30【予約は内線4307まで】【完全予約】 ※注⑥水曜日9:00～11:00【完全予約制】	
歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 / 大槻 (午前初診・ 午後再診)	手術日	塩入 / 大槻 (午前初診・ 午後再診)	塩入重彰(再診のみ) 大槻伸江(再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～10:00。初診急患は随時受付(紹介医から直接連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (午後のみ)	小児	アレルギー(鏡木・菅井)	腎(長瀬)※第1・3週	アレルギー(交代制)	乳児検診 (交代医師)	循環器(鏡木) ※第3以外 予防接種(交代医師)	
		アレルギー検査(交代医師)	アレルギー(鏡木)	アレルギー(菅井)	フォローアップ外来(小児)	神経(大山)※第3のみ	
	外科		癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来		
				スキンケア外来 ※第2・4週			※注⑧担当医:【国府・小椋】 毎週15:00～16:00
	スポーツ整形外科		※注⑧				
産婦	母親教室	助産師外来※注⑨ 母乳外来				※注⑨ 第2・4週	
循環		ヘルスメカ外来 ※注⑩				※注⑩ 第1・3・5週【加藤】 第2週【巽】	

初診 受付: 平日 8:30～10:00
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30～10:00
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

